

つなぐ



令和6年5月1日(水)

都立青山特別支援学校長 中澤 将人
相談支援部主任 中村 尚子
文責 中野 愛弓
後藤 真帆

副籍交流の流れ

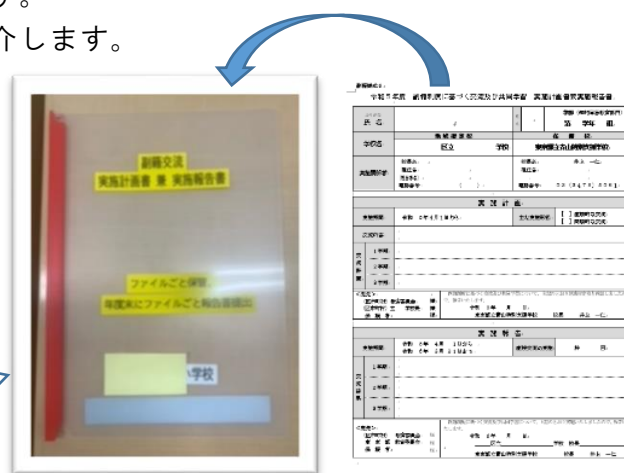
「副籍交流」とは、都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が居住する地域の区市町村立小・中学校(地域指定校)に副次的な籍(副籍)をもち、直接交流や間接交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図ることです。

本号では、副籍交流の大まかな年間の流れを御紹介します。

【交流計画書の発行】

- ①本校での個別面談で、保護者や児童・生徒本人の希望をもとに、交流内容を検討します。
- ②交流計画書を本校が作成し、本校・保護者・地域指定校及び区の教育委員会に発行します。

地域指定校向けの「実施計画書」は、はさみ込み式のクリアケースに入れて送付しています。地域指定校は、年度末まで、必ず大切に保管してください！



【直接交流】

①挨拶訪問

副籍交流をスタートする前に行う、最初の顔合わせです。保護者、児童・生徒本人、本校の担任、コーディネーターが地域指定校を訪問し、地域指定校の管理職、担任、コーディネーターと、具体的な交流内容について話し合います。



②出前授業(必要に応じて)

地域指定校の児童・生徒の皆さんに向けて、出前授業を実施することができます。「特別支援学校でどんな勉強をしているのかな?」「どんな友達が交流しに来るのかな?」など、親しみやすく伝えさせていただきますので、御利用ください。

③交流開始

保護者の引率のもとで、実際に交流を行います。

【間接交流】

学校だより、学年だより、行事案内等の交換をします。

お便り交換は、ビニール製のおたより交換袋を使用して、都庁交換便で行います。



【交流報告書の提出】

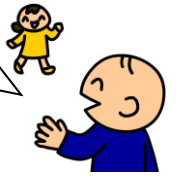
年度末に、地域指定校が交流内容を記載し、青山特別支援学校へ送付します。

副籍交流 保護者の感想

令和5年度末にいただいた、本校保護者の副籍交流の感想アンケートです。一部御紹介します。今年度の交流内容を検討する際の参考にしてください。

小学部高学年 渋谷区

3年間の継続が効果を生んだのか、いまでは学年の3クラスほとんど全員がわが子を知ってくださっているようです。この交流が子どもの心に残って、一緒にいることが当たり前の中になるきっかけになれば素敵だなと思います。



小学部低学年 港区

交流の内容が手探り状態だった。個人により内容に差があるとしても、他校の例などが提示されると助かった。



中学部 千代田区

交流が2年目で本人もすっかり慣れ、落ち着いて参加させていただいています。本人のペースに合わせて対応してくださるのもありがたいです。普段は家庭、学校、デイサービスの行き来だけで世界が狭いと思っているなかで、いろんな人と交流したり地域指定校にいつも利用しない交通手段を利用したりすることも経験や練習になりとてもいい機会になっています。

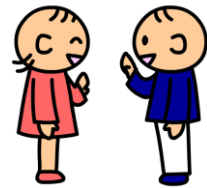


副籍交流の活動事例紹介

令和5年度に目黒区の中学校で行った、直接交流の活動事例を御紹介します。

〈交流内容〉

- 1 学期：挨拶訪問にて交流内容の打合せ
(参加者：本人・保護者・本校教員・中学校校長・中学校副校長・中学校教員)
- 2 学期：自立活動の授業に参加 (コミュニケーションゲーム)
文化祭の鑑賞
- 3 学期：部活動に参加 (ボランティア部)
総合の授業に参加 (3年生を送る会)



〈交流後の感想〉

- 本人 : ゲームをしたのがたのしかったです。たくさん友だちができてよかったです。
- 保護者 : 本人は緊張もしていましたが、楽しく参加できて本当に良かったです。何をするのか提示していただき、見通しをもち行動ができました。感謝です！

校内の保護者の皆様からの御相談をお受けいたします。

御家庭での子育てのお悩みなどについて、一緒に考え解決していけるよう、コーディネーター等が御相談に対応しています。担任を通じてお電話や連絡帳にて、御連絡ください。